

# 山スキーと温泉に親しむ会 '86.3.15-16

## 蔵王遠刈田温泉

《菅沼博，西川克之の2名が参加》

担当：早坂善治(仙台山想会)，深野稔生(仙台YMCA)

参加：仙台YMCA 1名，仙台山想会 1名，東北早真家集団 1名，Y.S.D 2名  
福島キャンション山の会 5名，わらじの仲間 4名，グループフェリスOB会 3名  
総勢 17名(当初予定の人数を超えた為仙台からの参加の制限をしたとのことだ)

3月15日(土)は自由行動で、宮城蔵王澄川スキー場上部で偶然東京からのパーティー9名が一緒になり、刈田岳、熊野岳を往復した。天候はガス。刈田岳山頂でランドネーのパーティーと会い、あいさつを交わす。さすが蔵王、案内ポールが乱立気味に続いている。

刈田岳から熊野岳への往復は1.5ト程。凡で雪が飛ばされている部分が多く、滑る楽しみはほとんど無い。但し、熊野岳は100名山の一座だ。刈田岳からは往路の中央コース右を滑降する。視界はマアマアだが雪面が若干見えづらい。雪質はベリーグーで傾斜もゆるいので、誰でもどこでも曲がるというあんばいだ。登りが短かったせいか、すぐにゲレンデに着いてしまった。

この日は夜遅くまで交流会が行われていたが、飲み過ぎ気味の僕はいつの間にかコタツの中で寝てしまった。夜ごはんも出たらしいが、それも知らない。

3月16日(日)は適当に車に分乗し、再び澄川スキー場へ。この日は強風でリフトが動かないとのこと。従って烏帽子スキー場から烏帽子岳登頂、滑降に変更。車は便利だ。烏帽子スキー場も強風でリフトが止まっている。結局下の2本に乗って上の2本はゲレンデをシールで登る。リフト終点からは丸い番号札(八幡平と同じ)が山頂迄続いており、数が減るのでもうすぐという感じがわかる。風が強いのとペースが早いので、短い時間だがすいぶん疲れを感じてしまう。うちの会は丁度いいというが、悪く言えばペースが遅いのかなと思ったが、会は会、ここはここで当然いい。

烏帽子岳からの滑降は昨日とは一変し、悪雪。ドクタンバタン転びながらも滑りは早い。すぐにゲレンデに着く。

帰りはこけし会館に寄って観光客にもなってしまった。

帰路は白石蔵王駅まで早坂に送ってもらい助かった。

来年は船形山だそうです。ぜひ参加しましょう。(SUGA)